

1. コース及び募集人員

○医療薬学専攻

コース	コースの概要、理念等	コード	募集人員
臨床薬学コース	各種専門薬剤師・認定薬剤師等の特定の疾病に対する薬物治療のスペシャリストと、病院・薬局において、薬剤師全般の業務に対して強い指導力を発揮できる指導薬剤師など、先導的薬剤師として活躍する人材の養成を目指す。	01	若干名
医療薬科学コース	製薬企業の研究・開発、CRO、SMO、CMO、大学・研究所(医療 ICT を含む)などの教育研究機関等で、臨床現場の薬剤師業務を理解する基礎薬学研究者、製薬企業等での医薬品製造研究・臨床開発者、治験コーディネータ、大学教員・研究者として活動する人材の養成を目指す。	02	

- (注) 1. 出願に当たっては、**研究指導を希望する教員(6ページ記載)に必ずお問い合わせください。**
2. 「臨床薬学コース」への出願については、**令和4年3月31日までに薬剤師免許を取得していること(取得見込みを含む)が必要になります。**

2. 出願資格

次の(1)~(3)のすべてに該当する者

- (1) 大学(薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する6年制学士課程)を令和3年3月以降に卒業した者及び令和4年3月までに卒業見込みの者(ただし、本学薬学部を除く。)
- (2) 学業成績、人物ともに優れ、将来薬学の研究分野において貢献が期待できる者
- (3) 合格した場合、必ず入学が確約できる者

3. 出願期間

令和3年6月8日(火)から6月14日(月) 17時(必着)

これより後に到着したものは、6月12日(土)までの消印のあるものに限り受け付けます。

※郵便事情を考慮して早めに発送してください。

出願は郵送とし、封筒の表面に「熊本大学大学院薬学教育部博士課程入学願書在中」と朱書きし、「**書留速達**」としてください。持参は受け付けません。必ず郵送してください。

〔出願書類提出先〕

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号 熊本大学学生支援部入試課

4. 提出書類等

志願者は、次の提出書類等を取りそろえ、郵送により提出してください。

提出書類等	摘要
推薦入試志願票	所定用紙：記入方法については、8ページ「推薦入試志願票記入上の注意」を参照してください。
写真票・受験票・住所票	所定用紙
写真(2枚)	写真は、縦4cm×横3cm、上半身脱帽正面向き、出願前3か月以内に撮影したものを写真票及び受験票に貼ってください。
研究(希望)計画書	所定用紙：研究(希望)計画について、1,500字程度を記入したもの。
卒業(見込)証明書 (オリジナルを提出(コピー不可))	出身大学長(研究科長等)が作成したもの。
成績証明書 (オリジナルを提出(コピー不可))	出身大学長(研究科長等)が作成し、厳封したもの。

推薦書	所定用紙：出身大学長（若しくは指導教員等）が作成し、厳封したもの。
薬剤師免許証の写し	薬剤師免許取得者は、免許証の写しを1部添付してください。
受験票送付用封筒	長形3号の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、374円分の切手（速達料を含む）を貼ったもの。
検定料	30,000円 ：出願要項の払込用紙を使って、郵便局又は銀行の受付窓口で払い込んでください。検定料受付証明書を検定料受付証明書貼付台紙に貼ってください。 なお、令和3年度に災害救助法適用地域で被災された方については、入学検定料免除の特別措置を行っております。条件や手続き等の詳細については、本学ウェブサイトをご覧ください。（ https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi 参照）
住民票又は在留カードの写し	外国人志願者は住民票または在留カードの写しを提出してください。出願者以外の世帯員については証明不要です。出願時に日本国内に在住していない者は、旅券をコピーしたものを提出してください。

- (注) 1. 改姓等により証明書の氏名と現在の氏名が異なる場合は、**戸籍抄本(コピー不可)**を添付してください。
2. 入学後、提出書類及び記載事項に虚偽の記載が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
3. 卒業（見込）証明書及び成績証明書について、オリジナルが1部しか発行されない場合で、提出後に返還を要する場合はご連絡ください。

5. 検定料の払込方法

(1) 検定料 30,000円

(2) 払込期間

令和3年6月7日（月）から6月14日（月）まで

(3) 払込場所

郵便局又は銀行の受付窓口

振込手数料は、志願者本人の負担となります。

※ATM（自動現金預払機）は使用不可。必ず窓口で払い込んでください。

(4) 払込方法

- ① 綴じ込み（又は別刷）の「検定料払込用紙」に必要事項を記入して、必ず郵便局又は銀行の受付窓口【ATM（現金自動預払機）は使用不可】で払い込んでください。
- ② 振込後、受付窓口で受領した「検定料受付証明書」を「検定料受付証明書貼付台紙」に確実に貼り付けて提出してください。

(5) 出願に際しての留意事項

- ① 検定料が払い込まれていない場合又は、払込済の「検定料受付証明書」が「検定料受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼り付けていない場合は出願を受理しません。
- ② 次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の検定料は返環しません。
 - (ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③ 返還にかかる振込手数料は志願者の負担となります。

○返還請求の方法

①返還請求の理由，②志願者氏名（氏名の右側に押印），③志望研究科・教育部，④金額，⑤支払日，⑥連絡先〔郵便番号，現住所，電話番号〕，⑦振込口座〔銀行名，支店名，普通預金の口座番号，口座名義（ふりがなも記入），口座名義人と志願者との続柄〕を明記した「検定料返還請求書」（様式自由）を作成し，必ず「検定料受付証明書（台紙貼り付け用）」を別紙に貼付して速やかに下記送付先に郵送してください。

送付先 〒860-8555
熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
熊本大学財務部財務課
収入・支出チーム
問合せ先 （電話）096-342-3176

※なお，返還請求の受付は令和4年3月31日まで（必着）とし，受付日の翌月以降に返還する予定です。返還請求書の到着確認をしたい場合は，書留や特定記録郵便等で発送のうえ郵便追跡サービスをご利用ください。

※外国送金に関する注意点

日本国外の金融機関口座への検定料返還を希望する場合は，入試課（nyushi@jimu.kumamoto-u.ac.jp）へ連絡してください。なお，返還に伴い発生する手数料は全て志願者負担となります。

6. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は，学力検査，面接，成績証明書の結果を総合して判定します。

(2) 学力検査等

試験日時及び場所

試験日	時間	検査科目	試験場
令和3年7月1日（木）	9:30～11:00	英語（科学に関する内容）	本学薬学部
	13:00～	面接	

〔受験上の注意〕

1. 受験票は必ず携帯し，受験時は机の上に置いてください。
2. 机には，受験票，筆記用具，時計，消しゴム，鉛筆削り以外は置かないでください。
3. 携帯電話等の電源を切ってください。
4. やむを得ない理由で遅刻した場合，試験開始時刻後30分以内であれば受験を認めます。
5. 試験時間終了まで退室を認めません。
6. 不正行為をした者の解答は無効とし，以後の受験を認めません。
7. 面接は，一部英語で実施します。

7. 合格者発表

令和3年7月9日（金）

合格者には合格通知書を郵送します。また，参考までに熊本大学のウェブサイト（<https://www.kumamoto-u.ac.jp>）に合格者の受験番号を掲載します。（11時頃を予定。当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。）

合格通知書の氏名については，コンピュータに登録する際に慣用字体を用いますので，志願者の表記と異なる場合があります。また，対応できない場合は，カタカナで表記しますのでご了承ください。

なお，電話等による可否の照会には一切応じません。

8. 入学手続等

(1) 入学手続

入学手続の期間及び方法等，手続の詳細については，合格通知書送付の際に同封してお知らせします。

- ・入学手続きはインターネット入学手続システムを利用して行います。
- ・入学手続き時の必要経費

入学料（予定額） 282,000円

なお，入学手続期間中に入学手続をしなかった者は，入学を辞退したものと取り扱います。

(2) 授業料

年額535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）（予定額）

（注）入学時及び在学時に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

(3) 災害救助法適用地域で被災した世帯の免除制度について

学資負担者が災害救助法適用地域において被災し、修学困難となった学生に対して、本人の申請に基づき審査の上、被災状況に応じた入学料及び授業料の免除制度があります。詳細については、担当までお問い合わせください。

※災害発生後1年以内に納付する入学料及び授業料を対象とします。

担当：学生生活課経済支援担当 TEL096-342-2126

9. 奨学金

日本学生支援機構奨学生に出願し、選考の結果により第一種奨学金（令和3年度は、月額80,000円、122,000円から選択）、又は第二種奨学金（令和3年度は、月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択）の貸与を受けることができます。その他、地方公共団体及び民間団体の奨学金制度もあります。

10. 国際交流会館入居申込み方法

外国人志願者で入学後、国際交流会館への入居を希望する人は、次のとおり申し込んでください。入居期間は、原則として半年以内とします。

なお、不合格になった場合・空室がない場合には、入居することができません。

(1) 入居申込書請求方法

以下の本学ウェブサイトから募集要項・申請書を取得することができます。

（4月入学：1月上旬ごろ掲載予定）

募集要項をご確認のうえ、申請書を提出してください。

【ウェブサイトアドレス】

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu/kokusaikouryuukaikan/ryoukin>

また、国際教育課の窓口で受け取るか、E-mailにて請求することもできます。

(2) 入居申込書提出期日

令和4年1月31日（月）まで

※変更となる可能性があるため、申し込み前に必ず募集要項をご確認ください。

(3) 請求（照会）先・提出先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

熊本大学学生支援部 国際教育課

電話番号 096-342-2160

F A X 096-342-2130

E-mail gji-ryugaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

11. 注意事項

(1) 出願書類を受理した後は、記載事項の変更及び検定料、出願書類の返還はできません。

(2) 障がいや有する入学志願者で、受験上の配慮を希望する者は、令和3年6月7日（月）までに薬学系事務室教務担当へご相談ください。

(3) 新型コロナウイルス感染症が国内で広がっている影響により、募集要項に掲載している内容を変更する場合、及び台風等の自然災害の影響により試験日時等を変更する場合は、本学ウェブサイト (<http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/phagrad/>) に掲載しお知らせしますので、最新情報をご確認ください。

【出願書類送付先】

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

熊本大学学生支援部入試課

【問合わせ先】

〒862-0973 熊本市中央区大江本町5番1号

熊本大学生命科学系事務部医薬保健学系事務課
薬学系事務室 教務担当

TEL 096-371-4635

FAX 096-371-4639

E-mail: sky-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

ウェブサイト: <http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/phagrad/>

個人情報の取り扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続に係る業務で利用します。
- (2) 入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理など修学に係る業務で利用します。
- (3) 入学手続者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係る業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学科免除・授業料免除及び奨学生選考など修学支援に係る業務で利用します。
- (5) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学者選抜等に関する調査・研究等に係る業務に利用します。

※本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

熊本大学大学院薬学教育部 指導教員および研究内容一覧

R3.4.1現在

指導教員	研究内容
教授 荒木 喜美	◎マウス初期胚・胚性幹細胞を用いた遺伝子工学手法の研究と開発 ◎遺伝子操作マウスを用いたゲノム機能の解析
教授 石塚 忠男	◎配座固定分子による高機能不斉反応場の開発と応用
教授 石塚 洋一	◎小児・新生児領域の医薬品適正使用に関する研究 ◎医薬品有害事象(副作用)のメカニズム解析とその予防・治療法の創成
教授 大槻 純男	◎定量プロテオミクスを基盤としたがん診断・個別化治療に関する研究 ◎脳関門機能と中枢疾患、関門ドラッグデリバリーに関する研究
教授 甲斐 広文	◎遺伝性難病の細胞生物学的解析及び創薬ターゲット分子の探索 ◎生体の恒常性維持機構を制御する新たな治療手段の開発
教授 香月 博志	◎難治性中枢神経変性疾患における細胞死の機序解析と神経保護薬の探索
教授 小谷 俊介	◎環境調和型触媒による分子変換法の開発とこれを活用した生物活性物質の効率的合成研究
教授 齋藤 秀之	◎臨床薬物動態解析を基盤とした医薬品適正使用に関する研究 ◎薬物動態制御機構の分子・細胞生物学的解析
教授 猿渡 淳二	◎生物統計・情報科学を駆使した病態並びに治療反応性の予測 ◎精神・神経疾患治療薬の個別化投与と設計システムの構築
教授 杉本 幸彦	◎プロスタグランジンをはじめとする生理活性脂質の機能に関する創薬研究 ◎慢性アレルギー治療を目指したマスト細胞・好塩基球制御に関する研究
教授 塚本 佐知子	◎海洋生物・微生物・植物からの新規医薬候補化合物の探索と作用機序の解明 ◎創薬のための評価系確立と微生物成分の多様性拡大
教授 寺沢 宏明	◎炎症性疾患・認知症・フェロモンの機能メカニズムの解明と創薬展開 ◎構造生物学とイメージングに基づく新規手法の開発
教授 中島 誠	◎高立体選択的有機合成反応の開発 ◎新しい有機分子触媒の設計とその応用
教授 中村 輝	◎モデル生物(ショウジョウバエ)を用いた生殖細胞形成機構の研究 ◎mRNAの細胞内局在と翻訳の時空間的制御機構の解析
教授 濱田 哲暢	◎抗悪性腫瘍薬の早期・探索臨床研究におけるトランスレーショナルリサーチ ◎抗悪性腫瘍薬の薬物動態・薬力学・薬理遺伝学(PK/PD/Pgx)に関する研究
教授 藤田 美歌子	◎難治性疾患治療を目指した創薬研究 ◎HIVの分子ウイルス学的研究
教授 丸山 徹	◎薬物動態に関与する機能性タンパク質の翻訳後修飾に関する医療薬学的研究
教授 三隅 将吾	◎HIV・SARS-CoV-2治療薬開発に関する基礎研究 ◎粘膜免疫・ワクチンに関する基礎研究
教授 南 敬	◎血管病に至る分子メカニズムの解明と創薬研究 ◎エピゲノム制御研究に基づく血管活性化機構解明
教授 本山 敬一	◎シクロデキストリンを基盤分子とするDDS製剤の構築 ◎医薬品の製造および包装技術に関する研究
教授 森岡 弘志	◎低分子抗体を利用した次世代治療手段の開発研究 ◎生体タンパク質の分子認識解析から機能性タンパク質の創製、創薬研究
教授 渡邊 高志	◎漢方薬を構成する生薬の基原植物の新しい機能性の解明と臨床生薬学への応用 ◎レアプラントの探索調査とその生育環境の評価、薬用・有用植物から創薬をめざして
准教授 荒木 正健	◎可変型遺伝子トラップ法を用いた疾病モデルマウスの開発と解析 ◎マウスゲノム上に存在する新しい領域CSCTおよびTCAAの解析
准教授 池水 信二	◎免疫系細胞表面受容体及び基質蛋白質の構造生物学的研究 ◎免疫系シグナル伝達蛋白質の構造生物学的研究
准教授 伊藤 慎悟	◎生体関門輸送機能を基盤とした病態メカニズムの解明と創薬・ドラッグデリバリーシステム開発への展開
准教授 鬼木 健太郎	◎代謝疾患のリスク予測と個別化予防法開発に関する臨床研究
准教授 小橋川 敬博	◎抗がん剤創製へ向けたチロシンキナーゼの構造生物学的研究
准教授 近藤 悠希	◎医療ビッグデータを利用した医薬品有害事象・薬物間相互作用に関する研究 ◎腎機能障害患者における医薬品適正使用に関する医療薬学研究
准教授 塩田 倫史	◎非B型DNA・RNA構造体を標的にした神経疾患の病態解明と創薬研究 ◎非B型DNA・RNA構造体の生物学的意義の解明
准教授 首藤 剛	◎自然免疫制御分子の発現制御機構の解明 ◎ABCトランスポーター発現・機能制御に基づく新たな創薬研究
准教授 城野 博史	◎悪性腫瘍・慢性炎症性疾患の病態発現メカニズムの解明及び創薬・診断ターゲット分子の探索 ◎難治性アミロイドーシスの早期診断・新規治療戦略の開発
准教授 杉村 康司	◎人工栽培装置における新技術の開発と薬用植物の低コスト・高収量・高品質栽培研究 ◎熊本県産在来植物の新たな機能性・有用性の解明と水耕栽培施設を活用した実用栽培化研究
准教授 関 貴弘	◎中枢神経疾患とタンパク質分解系の関連解明とそれをターゲットにした創薬研究
准教授 中村 照也	◎ゲノム安定性、細胞シグナル伝達、創薬に関わる蛋白質の構造生物学的研究
准教授 東 大志	◎シクロデキストリンを基盤分子とした超分子薬学の創生
准教授 渡邊 博志	◎酸化ストレス関連疾患の病態生理解明と治療戦略の開発
講師 土屋 創健	◎microRNA包括トランスクリプトーム解析を用いた生理機能・がん病態メカニズム解明と創薬研究 ◎ゼラフィッシュを活用した発生・創薬研究
講師 吉永 壮佐	◎炎症・がん・認知症・疼痛・匂い・フェロモンに関する核磁気共鳴イメージング研究と創薬展開

薬学教育部(博士課程)入学試験実施状況

令和3年度4月入学

専攻名	募集人員	選抜区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
医療薬学専攻	8名	1期募集	一般	1	1	1	1
合計				1	1	1	1

令和2年度4月入学

専攻名	募集人員	選抜区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
医療薬学専攻	若干名	推薦		2	2	2	1
	8名	1期募集	一般	4	4	4	4
	若干名	2期募集	一般	1	1	1	1
	若干名	3期募集	社会人	2	2	2	2
合計				9	9	9	8

平成31年度4月入学

専攻名	募集人員	選抜区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
医療薬学専攻	若干名	推薦		2	2	2	2
	8名	1期募集	一般	2	2	2	2
	若干名	2期募集	一般	1	1	1	1
合計				5	5	5	5

平成30年度4月入学

専攻名	募集人員	選抜区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
医療薬学専攻	若干名	推薦		1	1	1	1
	8名	1期募集	一般	5	5	5	5
合計				6	6	6	6

平成29年度4月入学

専攻名	募集人員	選抜区分		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
医療薬学専攻	若干名	推薦		1	1	1	1
	8名	1次募集	一般	4	4	4	4
	若干名	2次募集	一般	2	2	2	2
合計				7	7	7	7

【令和4年度 熊本大学大学院薬学教育部（博士課程）推薦入試志願票記入上の注意】

1. 入試区分等	受験番号	記入しないでください。
2. 氏 名	フリガナ	氏と名を分けて記入してください。
	氏 名	外国人の方のみミドルネームまで記入してください。
3. 生年月日等	生年月日	生年月日を西暦4桁、月・日2桁の合計8桁で記入してください。 (例) 平成8年8月3日生→19960803
	性別	該当する性別の番号を○で囲んでください。
4. 出身大学所在地等	出身大学所在地	出身大学所在地を記入してください。
	出身大学所在地コード	別表1を参照の上、2桁のコードを記入してください。 (例) 熊本県→43
5. 旧学生番号	旧学生番号	熊本大学の学部を卒業予定で、期間を挟まずに薬学教育部に志願される方は、現在の学生番号を記入してください。 これに該当しない方は記入の必要はありません。
6. 出願資格 (出身大学等)	出身大学等	国立・公立・私立の該当するものを○で囲んでください。 学は大学名、学部名、学科名を記入してください。 大学卒業以外の方は出来るだけ詳細に卒業学校を記入してください。
	出身大学コード	別表2を参照の上、左詰でコードを記入してください。 (例) 熊本大学→0384
	卒業見込卒業の別	該当する番号を○で囲んでください。
	卒業年月	卒業（見込み）の年月を西暦4桁、月2桁の合計6桁で記入してください。 (例) 令和4年3月卒業（見込み）→202203
7. 志望コース等	コース名	志望するコース名を記入してください。
	コースコード	志望するコースコードを、1ページのコードを参照の上、記入してください。第2志望まで記入可能です。 (記入例)
8. 指導希望教員への 事前連絡		出願前までに、研究指導を希望する教員（6ページ）へ事前に問い合わせをしてください。 <u>事前問い合わせが無い場合は、出願を受け付けることができません。</u>
9. 薬剤師免許	薬剤師免許	薬剤師免許の有無、取得（見込）年月日を記入してください。
10. 住 所	現住所	郵便番号、現住所、電話番号及びEメールアドレスを記入してください。
	緊急連絡先	現住所以外に緊急連絡先があれば記入してください。
11. その他	社会人区分	入学が許可された場合、その後の状況が次に該当する場合は「1」を、該当しない場合は「2」を○で囲んでください。 ・給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている方（ただし、企業等を退職した方、及び主婦の方も含みます。）
	留学生区分	留学生である場合は、該当する番号を○で囲んでください。留学生でない場合は記入の必要はありません。

※入学志願票及びその他の提出書類については、必ず志願者本人が、後で消せない黒のボールペンを使用し、楷書で明確に記入してください。鉛筆や消せるペンの使用は認めません。